

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年3月21日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676900113
法人名	医療法人 共生会
事業所名	びろうの樹
所在地	鹿児島県志布志市有明町野井倉6166番地1 (電話) 099-474-0033
自己評価作成日	平成24年2月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

事業所は「楽しく生活できるようにお手伝いします」「地域の方との触れ合いを大切にします」「いつでも安心して過ごせるよう対処します」この3項目を理念に掲げています。

同一法人の事業所に医療機関や特定施設があり、入居者の希望や必要に応じて、サービスを受ける事が出来る。

また、急変時や事故等に対して迅速で適切な対応がとれる体制を構築している。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成24年3月14日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・当ホームは医療法人が設立している2ユニットのホームである。ポニーや山羊が利用者や職員により飼育され、子山羊などの成長を楽しみながら生活している。

・運営母体が医療法人であり、健康管理面での支援体制が整っているため、利用者や家族にとって安心できる環境となっている。

・管理者や職員は、利用者が利用前までの家庭や地域での暮らしや馴染みの関係が継続できるように支援に取り組んでいる。

・町内会に加入し、地域の介護や交流の場となるよう、また、認知症対策の支援や情報発信を行い、地域との交流を積極的に取り組んでいる。

・利用者は、明るく清潔なホームで、くつろぎながらゆったりと生活している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ミーティング等、スタッフが集まる機会に理念の確認を行い、全スタッフが理解・周知しています。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を作成し、玄関や事務室に掲示している。申し送りやミーティング時に確認し合い、具体的なケアについて意思の統一を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、自治会の敬老会や運動会・奉仕作業等へ参加し交流を深めています。	地域の自治会に加入し、行事や奉仕作業等に積極的に参加している。月2回保育園からのボランティアを受け入れ、地域との交流が行われている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	小・中学生の職場体験や高校生の実習等、積極的に受け入れ、認知症の方々の理解を広げられるよう取り組んでいる。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の頻度で運営推進会議を開催し、その中で利用者の日常生活の様子を写真等を活用しながら紹介すると共に、意見を出して頂き参考にしてている。	会議は定期的に行われ、外部評価の報告や事業所の報告がなされている。出席者から理解と協力を得るとともに、具体的な意見が出され、サービスの向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市主催の研修に積極的に参加しています。又、市の担当者を運営推進会に参加して頂き、意見や助言を頂いています。</p>	<p>運営推進委員会の他に、市主催の研修会や認定更新機会等にプランの見直しの相談や情報交換をして、協力関係を築いている。また、生活保護者の担当者とは、細かに連携を図っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>スタッフは身体拘束に関する研修会等に積極的に参加し、ミーティング等で報告し、全スタッフで知識を共有し理解を深め身体拘束廃止に努めている。</p>	<p>身体拘束排除宣言表が玄関に貼付してある。事業所としても勉強会を実施し、職員の共有認識を図っている。昼間は玄関は施錠していない。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修会への参加及び事業所内でも研修を行い、虐待防止に取り組んでいる。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見制度の勉強会を実施し各スタッフが理解に努めています。必要時には、専門家（行政書士）への助言を頂いています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には十分な時間を取り、説明を行っています。またその都度、不安・疑問にお答えしています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者及びご家族からの意見はカンファレンス（毎日開催）等にて検討を行い改善・報告を行っている。</p>	<p>日頃から、家族が何でも言えるように、雰囲気作りに留意している。また、面会時や運営推進会議が意見や要望を把握するよい機会となっている。出された意見や要望等は職員で話し合い日常的なケアに反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>ミーティングだけではなく、その都度必要な意見を反映できるようにしている。</p>	<p>管理者は、各種の会議で職員の意見や要望を聞くように心がけている。出された意見・要望等は、職員会議で話し合い、運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>年2回人事考課表により自己評価、管理者の評価を行い、給与・賞与時の重要な意見として活かしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修への参加を積極的に進め、研修に参加した職員は会議の場で報告を行い、職員全体で知識を共有し、ケアの向上を図っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>県のグループホーム協議会・大隅地区グループホーム連絡協議会に所属し、交流の機会を持っているが、市内のグループホーム同士の交流というものが不足している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>サービス開始前に本人・ご家族と面談を行い、本人の意向を聞くことが出来るよう努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居申し込みの際、家族の悩み、思いなどを傾聴し、受け入れる事で関係構築できるように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居申し込みの際、本人・家族の要望と状況を聞き、ニーズを見極め、今必要としているサービスの紹介に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>日々を一緒に過ごす中で、利用者の不安や喜び等を共感して理解するように努力し、一緒に過ごしながら考えあう関係を築いています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族には、意向を伺いながら、ご本人にとってより良い暮らしが実現できるよう一緒に考えて行ける関係を目指しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者が以前住んでいた地域の行事等に参加し、理容・美容室も通い慣れた場所に行けるように支援している。	入居前からの馴染みの美・理容院などや知人との関係を大切にし、利用者の希望で職員と一緒に墓参りなども行い、関係が継続するように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーション等を通じ孤立しない環境を作っています。また利用者同士の個性等を見極めながら良好な関係が築けるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後も必要に応じて、状況を見ながら支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常の会話中など何気ない一言など聞き漏らさずに、スタッフ全員でカンファレンス等で小さなことでも共有し対応しています。	日々の関わりの中で様子を観察し、表情や言葉などから思いや意向の把握に努めている。家族や関係者からの情報も得るよう努め、本人本位のケアに活かしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時のアセスメントの活用。またご本人・ご家族・担当ケアマネージャーを通じて把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	スタッフ間で情報交換を密にし、現状の把握に努めています。又必要に応じて専門職の方から意見等も伺っています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議を行い、ご本人・ご家族の希望を反映させたプラン作成に努めています。	本人や家族の意向をくみとった上で、計画担当者を中心にスタッフで協議し、利用者本位の介護計画を作成している。3ヶ月ごとにモニタリングを実施し、そのつど見直しを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>各スタッフが細かに個別記録を記入し、それを元にカンファレンスを実施。介護計画への反映に努めています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>様々な状況に対応できるよう柔軟な発想と支援を心掛け、状況に応じた支援ができるよう努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>清掃活動やその他様々な活動へ参加し、利用者が地域で安心して生活できるよう支援していきます。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>主治医が毎週木曜日に往診をして頂いており、日々の変化なども報告して適切な医療を受ける事ができるように支援している。又ご家族の希望にも添えるように支援している。</p>	<p>かかりつけ医の受診を支援している。母体の医療機関から定期的な往診があり、連携を取りながら適切な医療を受けられるよう支援している。その他、通院は家族の希望に沿って支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>常時、情報交換や相談など行っており、健康な状態が保てるよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>母体の病院関係者との情報交換を行い、利用者の状況に合わせた支援に取り組んでいる。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時点でも説明を行っているが、ご本人の状況に応じて病状の説明も行うとともに、主治医やご家族にも協力を得ながら支援に取り組んでいる。運営推進会議等で方針を説明している。</p>	<p>本人や家族の意向を踏まえ、重度化に伴う対応の説明を行い、同意書を貰っている。既に看取りの経験があり、職員全員が終末期の支援の方針を共有している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>初期手当の方法も含め、定期的に勉強会を開催し、知識及び技術の向上に努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>地域の方や地元消防団の協力を得て、年2回避難訓練を実施している。また今年度から市主催の津波等災害の訓練にも参加しています。</p>	<p>避難訓練を年2回、消防署の指導のもと、昼・夜間想定して実施している。同法人事業所職員や地域住民の協力体制もできている。災害時のマニュアルを作成している。地震についても対策を行っている。災害時の備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者の個室があり、全スタッフ入室の際には必ず声掛けを行っています。また利用者の人格を尊重した言葉掛けを行っています。	日々のケアの中で、利用者の尊厳とプライバシーに配慮しながらケアや言葉かけに努めている。職員の採用時、個人情報保護についての誓約書をとっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々のコミュニケーションの中から、好みや思いを把握し、選択出来るよう努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者自身にその日の過ごし方を決めて頂きたいが、意思表示の少ない方など、スタッフ側の誘導的な過ごし方になっている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	理容・美容室は本人が行き付けていた地域の美容室へ行けるように本人の望むおしゃれが出来るように支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	週1回、栄養会議を開催し、利用者の嗜好調査や感想を参考にしている。食後の片づけやお盆拭きは各自が役割を持って行っている。	利用者と共に菜園で採った食材を使って、希望を聞きながら調理をしたり、後片付けなどを行い、食事は、職員も一緒に会話を楽しみながら摂っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスに関しては、週の初めに管理栄養士から助言を頂いている。水分量は毎日集計を取り、摂取量の少ない方に関しては形態や嗜好の物を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事の後には確実に口腔ケアを行って頂き、又歯科医の往診にて助言も頂いている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	適時のトイレの誘導・言葉掛けを行い、トイレでの排泄を促している。	自尊心に配慮しながら、トイレでの排泄を大切にしている。排泄チェック表を活用し、排泄の自立を支援している。入居時のオムツ使用者も布パンツ使用に移行でき、利用者や家族に喜ばれている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分の摂取や運動にて便秘の予防を行っているが、効果が見られない方については、薬剤を使用している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	意思表示のある方については希望の時間に入浴して頂いているが、意思表示の少ない方についてはスタッフの都合で決めてしまう事がある。	一日おきに、利用者の希望に沿った入浴ができるように支援している。入浴剤を使用するなど工夫して、気持ちよく入浴ができるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	今までの生活習慣に出来るだけ近い形での入床環境を整えています。また室温・照明などにも注意をはらっています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師からの説明、新しい薬が増えた時などカンファレンスで報告しスタッフの周知徹底に努めている。また症状の変化の確認など看護師と共に行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事や余暇活動を利用者様と一緒にいき、ここでの居場所や役割を持って頂けるように努めています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気や気候の良い時は庭への散歩を行っています。施設外への外出の機会が少なく今後はもっと機会を増やしていきたい。	日常的には、一人ひとりの習慣や楽しみに合わせて、散歩や日光浴を行っている。さらに、利用者の希望や楽しみに合わせて、ドライブや買い物等の外出支援も行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>外出の際などスタッフと共に買い物やされる利用者もおられます。その他は事務所にて保管してあります。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話など希望時には電話できるように支援しております。ご家族が遠方にお住まいの方には手紙に写真を添えて近況報告しております。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>食堂は、車いすの方や歩行器使用の方が混在するため動きやすく、また馴染みの方が接しやすいような環境作りを行っています。また季節の花や祭事の飾りを飾りつけ季節を感じれるように工夫しております。</p>	<p>玄関入り口の壁面に、季節を感じる飾りが工夫してある。台所を囲む壁が低く、開放的である。壁やドア・フロアが木製で温かい雰囲気となっており、共用空間は広々として椅子が多く、居心地よく過ごせるよう配慮してある。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>テレビの横にソファを配置して食後の一時を過ごしたり、音楽を流してくつろげるよう工夫しております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>一人一人の生活様式が異なるので、最大限生かせるようご本人・ご家族と相談して居室づくりを行っています。</p>	<p>ベッドやタンス等は備え付けであるが、その他、馴染みの物が持ち込まれ、居心地よく過ごせるように配慮されている。希望者には夜間ポータブルトイレを置くなど、利用者本位に工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレの位置や居室の場所を明確にして迷う事の無いような環境作りに努めています。またその時の利用者様の状況や要望に応じて臨機応変に対応できるように取り組んでいます。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない